

提携米通信

2011年5月号・黒瀬農舎



今年は、寒い寒い種蒔きでした。

震災からずっと寒い日が続いています。この写真は、種籾の消毒作業です。例年は3月中に行うことが多いですが、今年は余りにも寒いので10日余り遅らせました。

農薬を使わないために、湯温を60℃に保てるように、お風呂の給湯に使っていた古い灯油ボイラーを利用して数年前に消毒装置を自作しました。自画自賛ですが便利で最高です。

次の作業である種蒔き苗代作りは、我が農舎では、ビニールハウスを使わず、露地で浅く水を張って苗を育てる「プール育苗方式」ですので、桜の開花まで待つことにしました。

日当たりが良く、風も余り当たらない我が家の庭の桜が4月26日になって、やっと咲き始めましたので、苗代作りに取り掛かりました。

また、この春は気温が低だけでなく、雨の日が多い悪天候続きです。

私たちの地域は、昔の八郎瀧の湖底ですので、全地域が海拔ゼロメートル以下。元々排水の悪い所でもって雨続きで、田圃を耕せる状態になりません。

ところで、私たちの地域は、福島原発から300kmを超えている上に、原発事故が3月であり、その後も今年は寒い日が続いているために、大陸から吹く北風や西風に助けられ放射能汚染は完全な圏外におかれています。

この恵まれた立場にある私たち付近の農家の間では、「今年の寒さと雨には困ったね。でも津波や原発で春の農作業が出来ない人に比べれば恵まれた贅沢は言えないね。」が会ったときの挨拶の枕詞になっています。

原発事故の賠償金の農業関係者への仮払いが始まったようですが、例え経済的な損失が補償されたとしても、長年かけて、また、何世代にもわたって土作りなどしてきた土地が汚染された農家の立場を想うと、お慰めする言葉もありません。

恵まれた地域の私たちまで、暗い気持ちがよぎる今年の春作業の日々です。

提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友 基

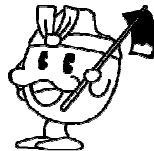
Tel 0185-45-3088

Fax 45-2887

E-mail: akita@kurose.com

HP検索:

黒瀬農舎



☆お米が余った時は、遠慮なく早めにパスや減量のご連絡をお願いします。

景気回復を願って、花見もブナツアーも行います。

震災以来、日本中の経済活動は停滞しているようです。

私たちの秋田は、地震や津波、そして原発被害も幸い免れましたが我が農舎に入りすどの業種の人の話も冴えません。

秋田は地震の直接被害はありませんでしたが、新幹線が50日間ストップしたことも重なって、観光関係者は悲痛な状態のようです。

我が村から近い「男鹿温泉」は、震災からほとんどの旅館ホテルが休業しており、ゴールデンウィークになっても営業再開未定の旅館やホテルもある模様です。

ところで、震災のお見舞い物資の提供や義捐金は、被災された方々に被災直後の心の支えとして活用頂けたと思いますが、生活基盤を破壊された方々のこれからの復興は、何と言っても経済活動が活発になり「仕事」がなくては何ともならないのが実情です。

我が家では、一時は、今年は「花見」も自粛しようと思っておりましたが、この不景気を吹っ飛ばすために例年通りに行くことに決めました。

我が村の桜は、今年は例年よりも遅れて後半のゴールデンウィーク中も咲き誇ると思われます。また、種蒔きを終えましたが、連日の雨で田圃はぬかるんで耕すことが当分無理ですので5月2日に我が家の庭で行う計画です。

さて、通信の正月号でご案内した「白神山地のブナの新緑ツアーと田圃公開」は、一時は「中止」を考えましたが、ロッジへの避難滞在を希望される方もなかったので、実施することに致しました。この機会にどうぞご参加下さい。



「白神ブナツアーと田圃公開」実施計画

期 日:2011年7月2日～3日

7月2日(土曜)

- 1 4時 ロッジ集合
 - 1 5時～1 7時 田圃や精米施設見学
 - 1 7時～ 温泉入浴、食事準備
 - 1 8時～ ロッジで交歓会、会食
- ロッジ泊 (定員オーバーはホテルなどへ)

7月3日(日曜)

朝風呂温泉、朝食後7時半にマイクロバスで白神へ
田苗代湿原散策、ブナ林で昼食、白神ブナ教育林散策 午後2時帰路へ
午後3時ロッジ帰着解散。(定員なり次第々切です。前後日のロッジ泊もOKです。参加希望者は詳細お問い合わせの上、飛行機早割など早めに手配下さい。)